

# 2023年度第2回理事会報告

開催日時:2023年7月29日(土) 10:00~12:00

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局(Zoomによるオンライン開催)

## I. 会長挨拶

定刻となり、空閑浩人会長より挨拶があった。

## II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて空閑会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2023年度第2回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として空閑会長、大島監事、岡部監事を選出した。

## III. 審議事項

### 第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より、配付資料に基づき説明があった。審議の結果、23名全員の入会が満場一致で承認された。

### 第2号議案 選挙管理委員会の設置および委員の選出

総務担当木下理事より、配付資料に基づき説明があった。

「一般社団法人日本社会福祉学会代議員選挙規則」第3条に基づいて第8期代議員選挙管理委員会を設置する旨の提議があり、審議の結果、満場一致で承認された。

### 第3号議案 学会賞審査委員の再任手続きおよび新任の選出

総務担当木下理事より、次期学会賞審査委員の委嘱について、配付資料に基づき説明があった。

現在、委員候補者5名に打診中であるため、内諾を得られ次第、理事会メーリングリストにてメール審議・承認をし、次回理事会で報告を行うことが提議された。審議の結果、満場一致で承認された。

### 第4号議案 2023年度学会賞授賞候補作について

学会賞審査委員会担当杉山理事より、2023年度学会賞の審査経過および授賞候補作について配付資料に基づき説明があり、審議した結果、今年度の学会賞授賞が満場一致で承認された。

授賞者および授賞作は以下の通りである。

----- \*

【学術賞(単著部門)】

林 健太郎 氏『所得保障法制成立史

イギリスにおける「生活保障システム」の形成と法の役割』（信山社、2022年）

【奨励賞（単著部門）】

大澤 亜里 氏『ヤヌシュ・コルチャックの教育実践

子どもの権利を保障する施設養育の模索』（六花出版、2022年）

天島 大輔 氏『しゃべれない生き方とは何か』（生活書院、2022年）

【奨励賞（論文部門）】

該当なし

----- \* -----

第5号議案 次期査読委員（2024-2026）への委嘱について

機関誌編集担当坏理事より次期査読委員の委嘱について配付資料に基づき説明があり、審議の結果、満場一致で承認された。今後、承認された次期査読委員候補者への諾否確認を行い、委嘱手続きを進める予定である。

第6号議案 インボイス制度について

財務担当室田理事より、2023年10月1日以降も免税事業者のままとすることが提議され、審議した結果、満場一致で承認された。

第7号議案 『社会福祉学』バックナンバー販売価格の改定について

総務担当木下理事より、バックナンバー販売と定期購読とで販売価格に差異が生じないよう、バックナンバー販売価格を見直すことが提議され、審議した結果、満場一致で承認された。

第8号議案 一般社団法人日本社会福祉学会「学生アルバイト代金に関する申し合わせ事項」の改定について

総務担当木下理事より「学生アルバイト代金に関する申し合わせ事項」を改定することが提議され、審議の結果、満場一致で承認された。

第9号議案 その他（Zoom契約更新について、他）

・Zoom契約更新

契約更新時期が迫っているため、このまま自動更新をするかライセンス数を増減するか、事前に各地域で検討するよう各地域ブロック担当理事に要請があり、各地域ブロックで検討することとなった。

・名誉会員の地域ブロックの大会参加費について

名誉会員規程に「全国大会への参加費が免除される。」と定められているが、その適用範囲の見直しについて、まずは各地域ブロックで検討し、その結果を踏まえて次回理事会で審議することが満

場一致で承認された。

・GEAHSS第7期会計監事について

GEAHSS事務局より、第7期会計監事として本会より1名の担当者を派遣するよう要請があったため、研究支援委員会担当兼GEAHSS担当の高良理事を派遣する案が提議された。審議の結果、満場一致で承認された。

## IV. 報告事項

### 1. 2023年度会員動向

総務担当木下理事より、2023年度の会員動向について報告があった。

### 2. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当伊藤理事より、各行事の準備状況等について報告があり、その後、行事ごとにそれぞれの担当理事から詳細な説明があった。

### 3. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坏理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について報告があった。

### 4. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の金子副会長より、第71回秋季大会にて開催される国際学術シンポジウムおよび留学生と国際比較研究のためのワークショップの準備状況について報告があった。登壇者は韓国および中国からの招聘者を予定している。

10月20日(金)～21日(土)に韓国済州島にて韓国社会福祉学会による社会福祉共同学術大会が開催され、本会より3チームを自由研究発表者として採択したとの報告があった。

### 5. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当杉山理事より、第71回秋季大会の開会式に引き続いて執り行われる学会賞授賞式、および当日に向けてのスケジュールについて、配付資料に基づき説明があった。

### 6. 研究倫理委員会からの報告

現在進行中の調査案件はなし。

### 7. 広報委員会からの報告

広報委員会担当岩永理事より、随時、学会ホームページの更新および多言語翻訳を行い、定期的に広報活動を行っているとの報告があった。英中韓3か国語への翻訳体制を新しくしたが、課題が残るとの報告があった。

## 8. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当元村理事より、学会史資料調査の第2弾を9月に実施予定であるとの報告があった。

## 9. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当高良理事より、第71回秋季大会で実施予定のスタートアップ・シンポジウムの準備状況について報告があった。また、第3回CS-NETサロンを8月に開催予定である。

## 10. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック:7月23日(日)に講演会および総会を開催し、盛会に終わったとの報告があった。現在は第20回フォーラムの企画案を検討中である。
- ・東北地域ブロック:2023年度の運営体制について報告があった。第22回大会を7月23日(日)に福島県の医療創生大学で開催した。2024年度のフォーラム開催担当地域であるため、準備組織の立ち上げ等の検討を行っている。
- ・関東地域ブロック:2024年3月17日(日)に2023年度研究大会の開催を予定しており、昨年度のアンケート結果を踏まえて開催形式は全面オンラインとして検討を進めている。
- ・中部地域ブロック:前回理事会以降の報告事項は特になし。
- ・関西地域ブロック:若手研究者・院生情報交換会を年3回開催予定であり、次回は12月2日(土)に花園大学にて対面形式での開催する予定である。2023年度年次大会および総会は2024年3月2日(土)に桃山学院大学での開催を予定している。機関誌『関西社会福祉研究』第10号の論文投稿締切日は8月31日(木)である。
- ・中国四国地域ブロック:7月8日(土)に第54回島根大会を島根大学松江キャンパスにて開催した。当日は警報級の大雨により避難指示が出ており、鉄道も運休していたため、午前のプログラム(自由研究発表・基調講演)のみ実施し、午後のシンポジウム等は中止としたとの報告があった。
- ・九州地域ブロック:運営委員会をメールおよび対面にて開催し、「九州社会福祉学」第20号(記念号)の内容・構成や、2024年度以降の研究大会校等について協議したとの報告があった。7月8日(土)~9日(日)に筑紫女学園大学にて研究大会を開催した。当日は荒天だったが、一日目はオンラインでシンポジウムを、二日目は対面で自由研究発表および総会を開催したとの報告があった。

## 11. その他(後援依頼、関連団体からの報告、他)

### ・後援(協賛)依頼について

総務担当木下理事より、過年度の実績があることから、2件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

### ・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

保正副会長より報告があった。研究支援委員会による初期キャリアにある研究者のニーズ調査報告書を踏まえて、日本社会福祉系学会連合で調査の実施を計画している。調査項目は本会のニーズ調査と重複しないよう、コロナ禍が研究に及ぼす影響について等をメインとして調整をしている。調査項目が確定し次第、加盟学会および所属する会員に向けて協力依頼をする予定である。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

高良理事より、6月25日(日)に開催された全体会の報告があった。

3) 社会政策関連学会協議会

杉山理事より、7月22日(土)に協議会が開催され、会計報告およびシンポジウムの企画案等について協議したとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、2024年3月9日(土)にシンポジウムの開催を予定している。チラシ等が完成したら本会も情宣協力をすることを確認した。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

報告事項は特になし。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

報告事項は特になし。

7) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

空閑会長より、6月3日(土)に開催された総会にて役員体制が交代し、従前は本会の会長が日本ソーシャルワーク教育学校連盟の理事を務めていたが、今後は日本社会福祉系学会連合から理事として推薦することとなり、引き続き保正副会長が日本社会福祉系学会連合会長として理事に就任したとの報告があった。

議長は、議事終了を告げ、12時00分に理事会を解散した。

以上